



Title	大学，民間，地域組織の特性とこれから
Author(s)	佐々木，一泰
Citation	デザイン理論. 2020, 75, p. 94-95
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/75361
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

大学, 民間, 地域組織の特性とこれから

佐々木 一泰 滋賀県立大学

1. 民間での経験

川島洋一先生発案で行われたシンポジウム「(大学×地域)×デザイン」のパネリストとして、「大学, 民間, 地域組織の特性とこれから」として紹介を行った。私は大学勤務前, 民間企業で商業施設の設計に携わっており, 丁度 2000 年前後はデザインの仕組みが変化する時期であり, 実務に関わることとなった。のちに失われた 10 年と言われる時代の商業施設は, それまでデザインされた空間に店舗を設定する仕組みから, 店舗を設定してからデザインする仕組みへ変化する時期であった。リーシングやリテールという言葉が当時良く耳にしており, 全体コンセプトがデザイナー主導から, かなり現実的な購買行動との関係により生み出されていく現場を目の当たりにした。それはデザイナーの仕事の在り方をも変化させた時期でもあったといえる。

2. 大学での活動

民間企業での経験は, その後大学での研究室活動に大きな影響を与えた。本大会でのポスター発表でも事例として紹介したが, 大学における地域活動について, 以下の課題を考えることができる。

- ・ハード先行の地域活動について疑問がもたれはじめた。
- ・地域はソフトとハードの一体的な整備を求めている。
- ・地域も大学も共同で, ソフトとハードの現状や可能性について考察が行えるのでは?

それらの課題は, 前述した民間でのデザインの

変化と同じ傾向を見ることが出来た。しかし, それとは別に大学特有の課題として, 以下の内容が現れはじめた。

- ・学生の地域活動と学業の両立。
- ・学生の持つ専門性とその成長。
- ・地域活動に対する評価手法。
- ・地域活動の社会的意義の確認。
- ・年度ごとの学生の係わりかた

これらは, 特に単位の実質化が言われ始めた時期から影響は大きくなり, 現在もその傾向は続いている。今回のシンポジウムでの紹介事例としてあげた例では,

- ・学生の研究との結びつけ
- ・学生の専門領域に対する実験の場

として, 前述した課題に対して対応しようと考えた。

3. 紹介したプロジェクト

ポスター発表と同様に, 「石山アートプロジェクト」と「伊吹の天窓」について紹介した。詳しい内容は発表要旨を参照して頂けたらと思うが, 特にシンポジウムでは, 組織構造と収支構造, 年齢構成について比較を行った(図 1, 図 2)。ふたつのプロジェクトは様々な協力者によって成り立っているが, 「石山アートプロジェクト」の実行団体「いしアート」は, 研究室学生が中心となり運営されているのに対し, 「伊吹の天窓」の実行委員会は, 移住者や地元出身者, 行政, そしてその関係する専門家によって構成されており, そこに研究室が加わる組織形態となっている。それは地域への対

象人数も週十人規模から千人規模になることでの、運営面や資金面からの、組織構成の違いも大きくなっている。

4. 海外での事例

私は、2017年ごろからオランダ・ハーグ市にある Billytown というアーティスト団体と交流を深め、昨年はギャラリーに書棚をつくる機会を得た。アーティスト団体の活動の場として廃校となった学校が使われることは多く、彼らが活動することで、地域の場所の空洞化を防いでいる。また、活動団体は参加しないが、再開発を行う際の、地域と練り上げる時間を生む役割を果たしている。2018

年に移転した場所を訪れた際には、施設の前には大きな公園があり活動的な空間を使用していた。

たまたま、この空間によって地域との交流の意思があるか何うと、する必要があればやるといったニュアンスであり、無理に地域交流をする訳ではなく、その場所の存在が既に地域貢献だという認識が印象的であった。

日本の地域貢献は、大学の在り方として議論されることが多いが、その評価や経験の蓄積について課題が大きいと思われる。特に今回は、大学が地方で地域の課題を取り組む事例を相互に紹介し議論を行ったが、研究室単位と大学組織それぞれの地域との関りには、今後も考察が必要かと考える。

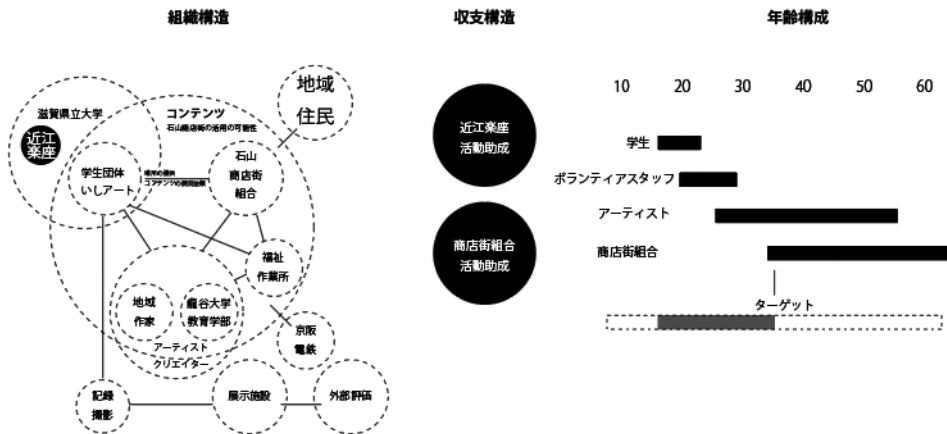


図 1. 石山アートプロジェクト組織構造・収支構造・年齢構成図

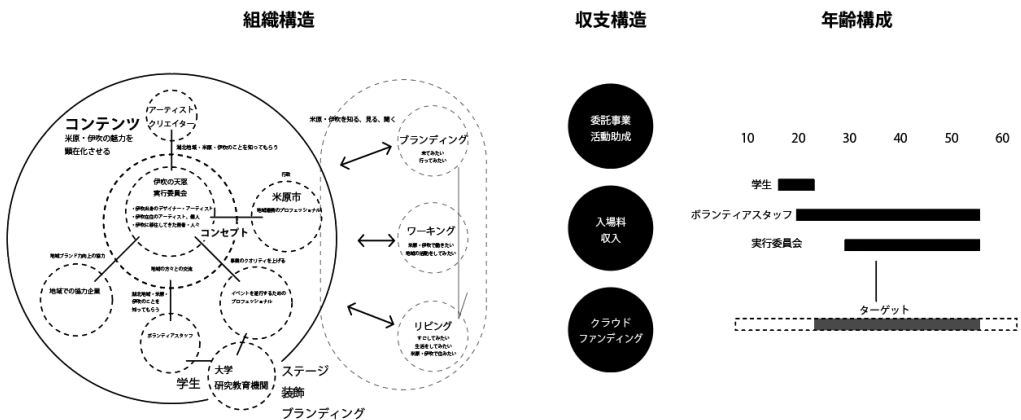


図 2. 伊吹の天窓組織構造・収支構造・年齢構成図